

「シフトレフト」推進で開発課題を解決

スニーク

デブセクオプ

SnykのDevSecOps

近年のセキュリティ脆弱性に関する問題

すべてのビジネスがデジタルファーストになりつつある中で、

セキュリティ脆弱性に関する
危機・事故が多発しています。



Log4jの脆弱性（Log4 Shell）は、2022年初頭、米国連邦取引委員会(FTC)が警告を発表するほど世界規模でのリスクとして話題となっています。

DXのセキュリティ関連動向



ソフトウェアの増加

企業リスクの多くがデジタル化され、技術的負債のレベルがあがるため、アプリケーション・セキュリティのニーズがあがり、デジタル資産が保護することが困難になります。



クラウド技術

クラウド化の普及により、新たなリスクをもたらし、安全性の概念を再定義しました。ITやインフラのリスクの多くがクラウドに移行することで、ソフトウェアで定義され、多くのリスクが軽減される一方で、アクセス管理の重要性が増してきています。



デブオプ DevOps手法*

ソフトウェアの開発・提供方法は加速します。これまで以上に継続的かつ迅速にソフトウェアをリリースする必要性があります。

※DevOpsとは：DevOps（デブオプ）とは、開発と運用の取り組みを共有責任として連携させる組織的な枠組みのこと。

従来の開発ツールや手法はスピードが遅く
ビジネスが求めるスピード感に対応できなくなります。

これらの課題に対処するため、

デブセクオプ

DevSecOps

が誕生しました。

デブセクオプ

DevSecOpsとは



主な特徴は「シフトレフト」

企画や設計段階からセキュリティを取り込むことで、脆弱性やバグを排除し、無駄なテスト時間を削減、最適なDXを推進することが可能となります。

デブセクオプ

DevSecOps以前の開発



診断で脆弱性が見つかった場合
スケジュールの遅延やコスト増のリスク

シフトレフト後の開発



上流工程からセキュリティ対策を行い
無駄のない開発を実現

スニーク

デブセクオプ

SnykがサポートするDevSecOps



デベロッパーファーストの セキュリティプラットフォーム

Snyk（スニーク）は、安全な開発を迅速に行うことを支援しています。コードやオープンソースとその依存関係、コンテナやIaC(Infrastructure as Code)における脆弱性を見つけるだけでなく、優先順位をつけ、修正を支援します。

Gitや統合開発環境(IDE)、CI/CDパイプラインに直接組み込むことができるので、デベロッパーが簡単に使うことができます。Snykは、開発チームがソフトウェアのサプライチェーンをセキュアなものとし、コード内のLog4jの脆弱性を発見するときも、多くの方法を提供しています。

資料請求やお問い合わせは、Snyk公式サイトにてご確認ください。

<https://snyk.io/jp>

